

第 3 回黒部市立荻生小学校運営協議会記録

- 1 日時 令和 7 年 2 月 28 日(金) 14:50~16:00
- 2 場所 荻生小学校会議室
- 3 出席者 飯野 勇 (荻生自治振興会長)  
前田 俊雄 (荻生公民館長)  
中島 一稔 (荻生小学校 PTA 会長)  
倉田 由紀 (荻生保育所所長)  
大田 真由美 (荻生地区主任児童委員)  
飯村 美恵子 (荻生地区ボランティア部会長)  
松島 春男 (有識者 前荻生自治振興会長)  
矢木 浩樹 (荻生小学校長)  
齊藤 誠 (CS 専門員)

4 内容

(1) 開会挨拶

- ・もっと学校と地域との結び付きをPRし、協力してもらうための知恵を出し合うことが必要。

(2) 学習参観を終えての感想交流

- ・「やさしく・かしこく・たくましく」が主眼。子供たちによく周知されている。
- ・子供が主体となっている。前に出ている子供たちが楽しそうだった。
- ・感想発表が自発的に行われていて素晴らしかった。
- ・たくさん練習したことが伝わった。どの学年も自信をもってやっていたよかったです。

(3) 協議

①令和 6 年度の学校運営について 校長 矢木委員より説明

児童評価と保護者評価の「差」が大きいことについて

- ・家庭環境や保護者の考え方によって評価が変わる。家庭で思ったことも言えないような我慢が生じる環境はつらいのではないか。
- ・生活習慣については、家族の時間から受ける影響が大きい。「メディアコントロール」については、睡眠や学習態度にもつながっていく。何を主として取り組んでいくか考える必要がある。

②令和 7 年度学校運営の方向性 (案) について 校長 矢木委員より説明

- ・質問、意見等は、なし。

③令和 7 年度学校運営協議会の開催時期・組織について 校長 矢木委員より提案

- ・保護者の考えを取り入れ、学校運営協議会で取り組んでいることを知ってもらうために保護者の委員を増やしたらよい。学校との関わりの中でPTA役員もしやすくなるのではないか。→もう 1~2 名増えるとよい。個人の意見というよりも、保護者の意見となる方がよい。
- ・急に間口を広げるのは、守秘義務が生じるので難しい。保護者や警察等、荻生の子供たちのために必要な面から広げていくとよい。

5 その他

- ・通学路の除雪について

幹線道路の除雪が優先されるので、どの道を通るかは家庭での決め事も大切である。大雪の日には、集団下校となり安心した。